

2026年6月21日(日)

歯科衛生士セッション

◆ オンデマンド配信あり

14:50 ~ 15:50 | 第3会場 (ウイंकあいち 5F 小ホール1)

歯科衛生士セッション 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）、岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

[DHS-座長] [座長抄録] 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

*依田 信裕¹、*岡田 昌子² (1. 東北大学大学院歯学研究科 口腔システム補綴学分野、2. 公益社団法人日本歯科衛生士会)

[DHS-1] 歯科衛生士リカレント教育は何を変えるのか

—補綴歯科医療を支える知の循環—

*島田 明子¹ (1. 大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科)

[DHS-2] 学びなおし”NCCL” -あなたの知識は20世紀で止まっていませんか？-

*黒江 敏史¹ (1. 黒江歯科医院)

歯科衛生士セッション

◆ オンデマンド配信あり

■ 2026年6月21日(日) 14:50 ~ 15:50 | 会場 第3会場 (ウインクあいち 5F 小ホール1)

歯科衛生士セッション 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）、岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

共催：公益社団法人 日本歯科衛生士会

歯科衛生士の復職支援や離職防止を目的とした人材確保事業が進む中、臨床の高度化や社会構造の変化に伴い、歯科衛生士には生涯的なリカレント教育とリスクリングが求められている。本セッションでは、歯科衛生士研修センターにおける教育体制と人材育成の視点、さらにNCCL（非う蝕性歯頸部欠損）の最新知見に基づく生活習慣指導や臨床対応を取り上げ、補綴歯科医が歯科衛生士とともに果たすべき役割を多角的に考察する。

[DHS-座長] [座長抄録] 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

*依田 信裕¹、*岡田 昌子² (1. 東北大学大学院歯学研究科 口腔システム補綴学分野、2. 公益社団法人日本歯科衛生士会)

[DHS-1] 歯科衛生士リカレント教育は何を変えるのか
—補綴歯科医療を支える知の循環—

*島田 明子¹ (1. 大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科)

[DHS-2] 学びなおし”NCCL” -あなたの知識は20世紀で止まっていますか？-

*黒江 敏史¹ (1. 黒江歯科医院)

歯科衛生士セッション

2026年6月21日(日) 14:50 ~ 15:50 | 第3会場 (ウイंकあいち 5F 小ホール1)

歯科衛生士セッション 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）、岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

共催：公益社団法人 日本歯科衛生士会

[DHS-座長] [座長抄録] 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

*依田 信裕¹、*岡田 昌子² (1. 東北大学大学院歯学研究科 口腔システム補綴学分野、2. 公益社団法人日本歯科衛生士会)

キーワード：リカレント教育、リスクリング、NCCL

現在、厚生労働省は歯科衛生士の復職支援および離職防止を目的とした「歯科衛生士の人材確保実証事業」を展開している。本事業の技術修練部門を担う実施研修施設として、全国5箇所の歯科衛生士研修センターが選定され、復職を目指す歯科衛生士に対する知識・技術の再獲得や更新、新人歯科衛生士の臨床力向上を目的とした研修プログラムが提供されている。超高齢社会の進展や18歳人口の減少に伴い、歯科衛生士の専門的役割や業務の多様性は今後さらに拡大すると予想される一方で、リカレント教育やリスクリングの重要性は歯科界において必ずしも十分に共有されているとはいえない。本シンポジウムは日本歯科衛生士会との共催で開催し、島田明子先生（大阪歯科大学教授）からは、本実証事業の概要と各研修施設の取り組みを紹介いただき、歯科衛生士との連携や人材育成の視点を共有する。また、黒江敏史先生（東北・北海道支部）からは、NCCL（非う蝕性歯頸部欠損）の管理における物理的摩耗や化学的酸蝕の関与など、最新エビデンスに基づく生活習慣指導やブラッシング指導の重要性について詳説いただく。本セッションを通じて、歯科衛生士のリカレント教育・リスクリングの具体的内容、その学術的背景、および実践的マネジメント手法を踏まえ、補綴歯科医が果たすべき役割について議論を深めたい。

歯科衛生士セッション

2026年6月21日(日) 14:50 ~ 15:50 | 第3会場 (ウイंकあいち 5F 小ホール1)

歯科衛生士セッション 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）、岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

共催：公益社団法人 日本歯科衛生士会

[DHS-1] 歯科衛生士リカレント教育は何を変えるのか

ー補綴歯科医療を支える知の循環ー

*島田 明子¹ (1. 大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科)

キーワード：歯科衛生士、リカレント教育、離職防止

近年、医療デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展や、超高齢社会における多職種連携医療ならびに地域包括ケアの発展により、補綴歯科医療を取り巻く環境は大きく変化している。医科と歯科をつなぐ職種として、歯科衛生士に求められる業務の専門性と多様性も高まっている。一方で、歯科衛生士の離職率は依然として高く、慢性的な人材不足は質の高い歯科医療の提供に影響を及ぼす喫緊の課題である。

本講演では、厚生労働省が実施する歯科衛生士の復職支援および離職防止を目的とした「歯科衛生士の人材確保実証事業」の研修施設である大阪歯科大学医療保健学部歯科衛生士研修センターの取り組みを紹介する。本センターでの研修プログラムの実施状況を踏まえ、歯科医療DXが加速する補綴歯科医療における歯科衛生士の専門性と連携の在り方を考察する。さらに、近年の卒前教育カリキュラムに着目して、新人歯科衛生士の離職要因について整理し、次世代の歯科衛生士人材育成の要点を提示する。併せて、今後の補綴歯科医療を支える人材基盤の在り方について展望する。

本講演を通して、歯科衛生士におけるリカレント教育への理解を深め、何を変え得るのかを自分自身の課題として捉える視点を共有したい。

歯科衛生士セッション

2026年6月21日(日) 14:50 ~ 15:50 | 第3会場 (ウインクあいち 5F 小ホール1)

歯科衛生士セッション 歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）、岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

共催：公益社団法人 日本歯科衛生士会

[DHS-2] 学びなおし”NCCL” -あなたの知識は20世紀で止まっていますか？-
*黒江 敏史¹ (1. 黒江歯科医院)

キーワード：NCCL、アブフラクション、アップデート

「学びなおし」はブランクを埋めるために必須ですが、現役の歯科衛生士にとっても重要な課題です。私たちが常識と考えている知識が、気付かぬうちに大きく変わってしまっていることがあります。非う蝕性の歯頸部歯質欠損（noncarious cervical lesion:NCCL）は、その好例です。くさび状欠損と呼ばれることが多いですが、くさび状以外の形態を呈することも少なくありません。そのため、形態を限定しないNCCLという用語の方が、より適切と考えられます。名称だけでなく、病因論にも大きな変化が起きてきました。歴史的に、摩耗と酸蝕がNCCLの原因と考えられていました。しかし、1990年代に過大な咬合力を原因とするアブフラクションが加わりました。NCCLを見るとアブフラクションを真っ先に疑う人は少なくないと思われます。しかし近年、アブフラクションに対する評価が大きく変化しました。海外の主要な学術団体が否定的な見解を示し、根拠が乏しい不適切な用語として用語集から除外した団体もあります。アブフラクションが提唱された当時の科学的・臨床的根拠は、実は脆弱でした。しかし、プレEBM時代であった1990年代に、十分な検証なしに事実として扱われるようになりました。21世紀に検証が進んだ結果が、現在の学術団体の見解です。そのため、NCCLを見て直ちにアブフラクションと決めつけることは、慎重であるべきです。残念ながら、「アブフラクションでなければNCCLは何か？」という問いに、アブフラクションに否定的な学術団体は答えを提示していません。そのため、NCCLをどう捉え、どのように対応すべきか、現存するエビデンスと経過を追った症例から考察します。